

資料 4-1  
令和3年度第2回  
事業評価委員会

# 東京都市計画道路放射第17号線

(大田区大森東三丁目～同区大森南一丁目)

令和3年9月9日(木)

建設局道路建設部

# 目次

1. 事業概要	.....	1
2. 社会経済情勢等の変化	.....	5
3. 事業の投資効果	.....	6
4. 事業の進捗状況と見込み等	.....	10
5. コスト縮減等	.....	12
6. 対応方針(原案)	.....	13

# 1. 事業概要(1)

## [全体概要]

路線名：放射第17号線

区間：太田区大森東二丁目  
～同区羽田二丁目

延長：約3.5km

## [今回評価区間]

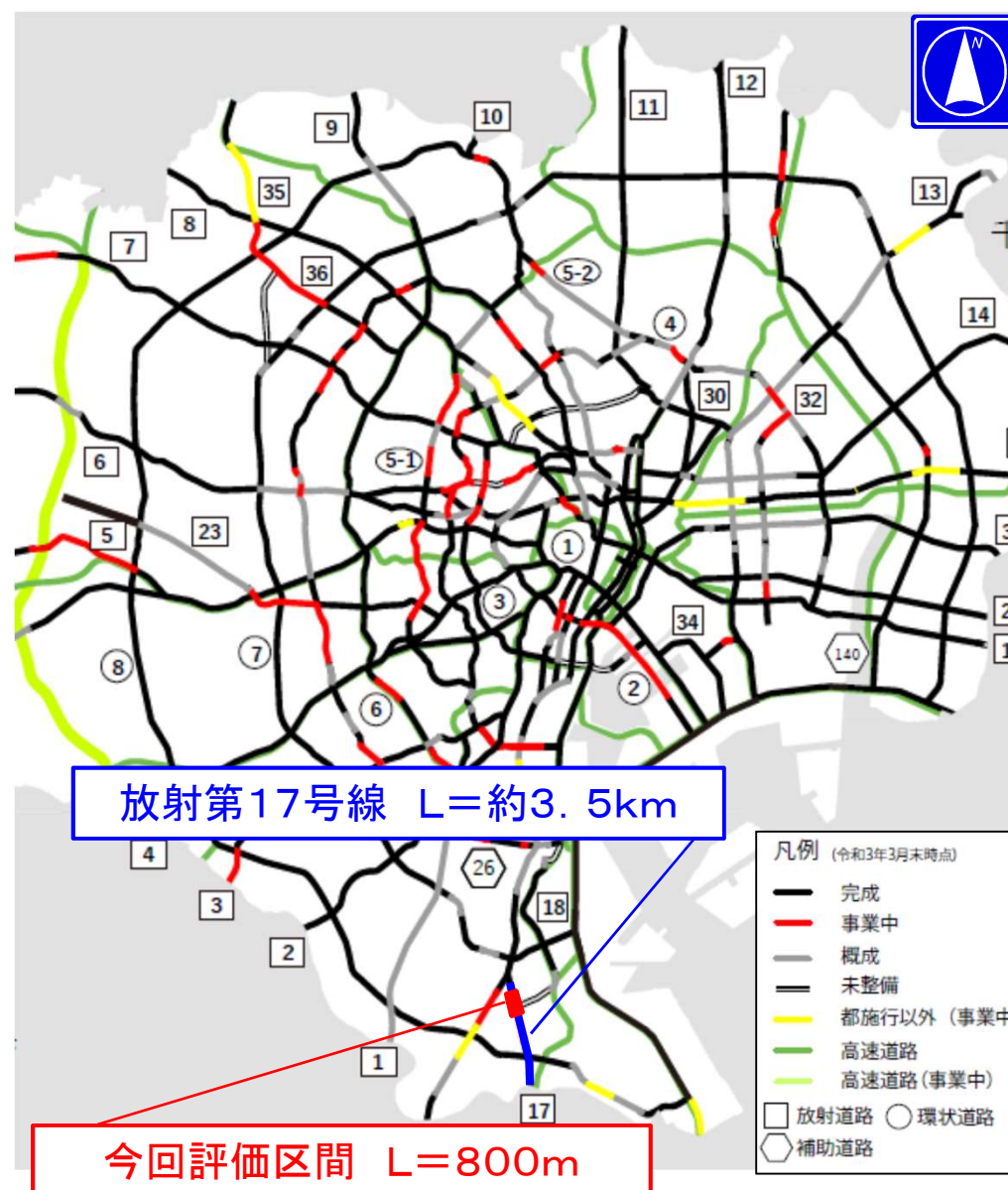
区間：大田区大森東三丁目  
～同区大森南一丁目

延長：延長800m

幅員：30～35m

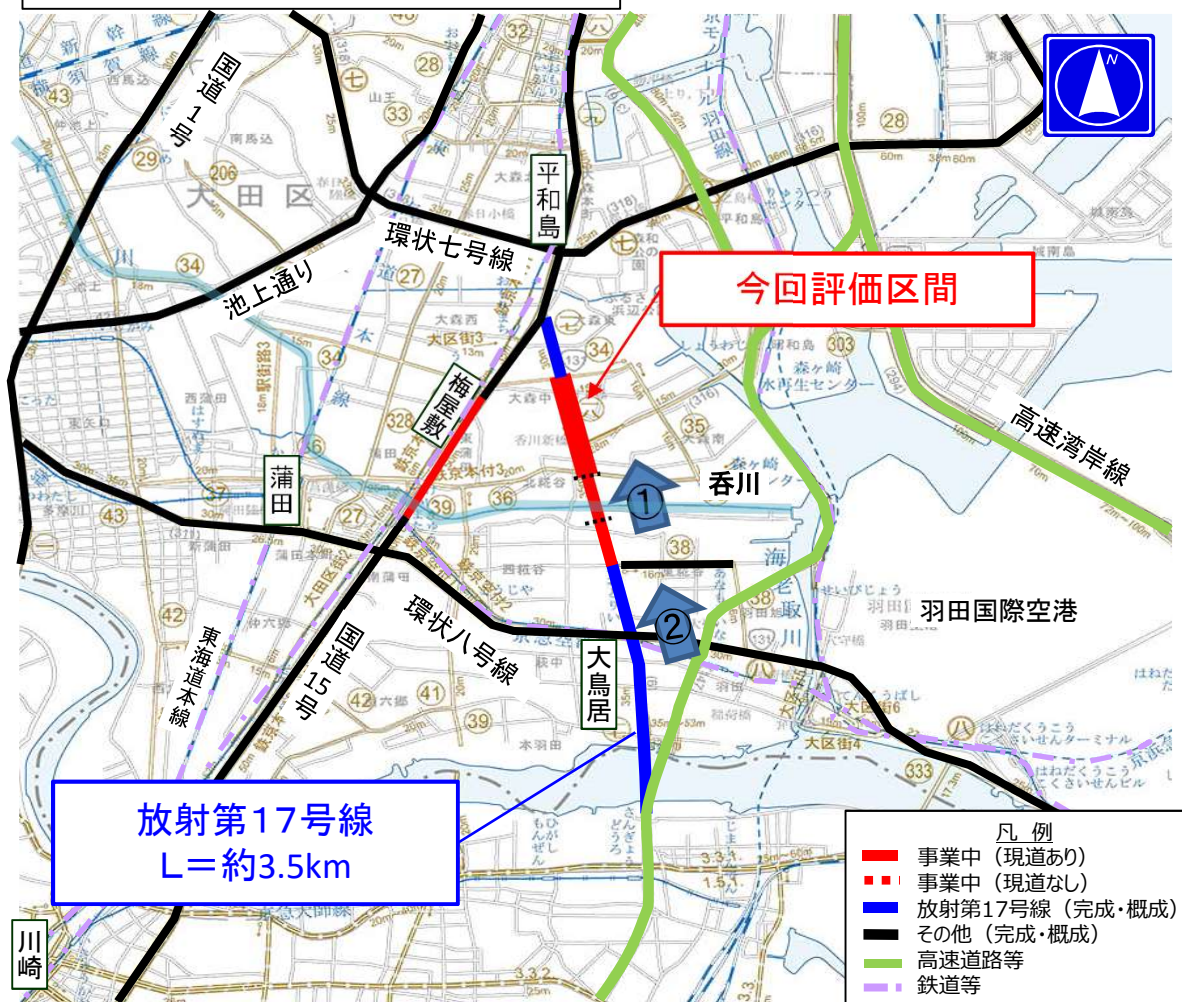
事業費：約82億円

年度	計画等
昭和21年3月26日	都市計画決定
平成25年2月15日	事業認可取得
令和7年3月31日	事業認可期間



# 1. 事業概要(2)

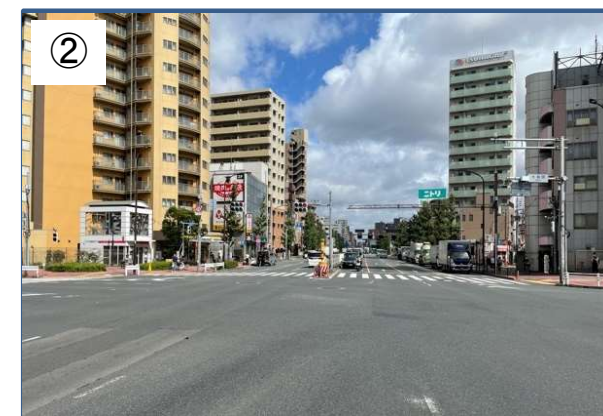
## 今回評価区間周辺の概要



## 同一路線の沿道状況



呑川より北側

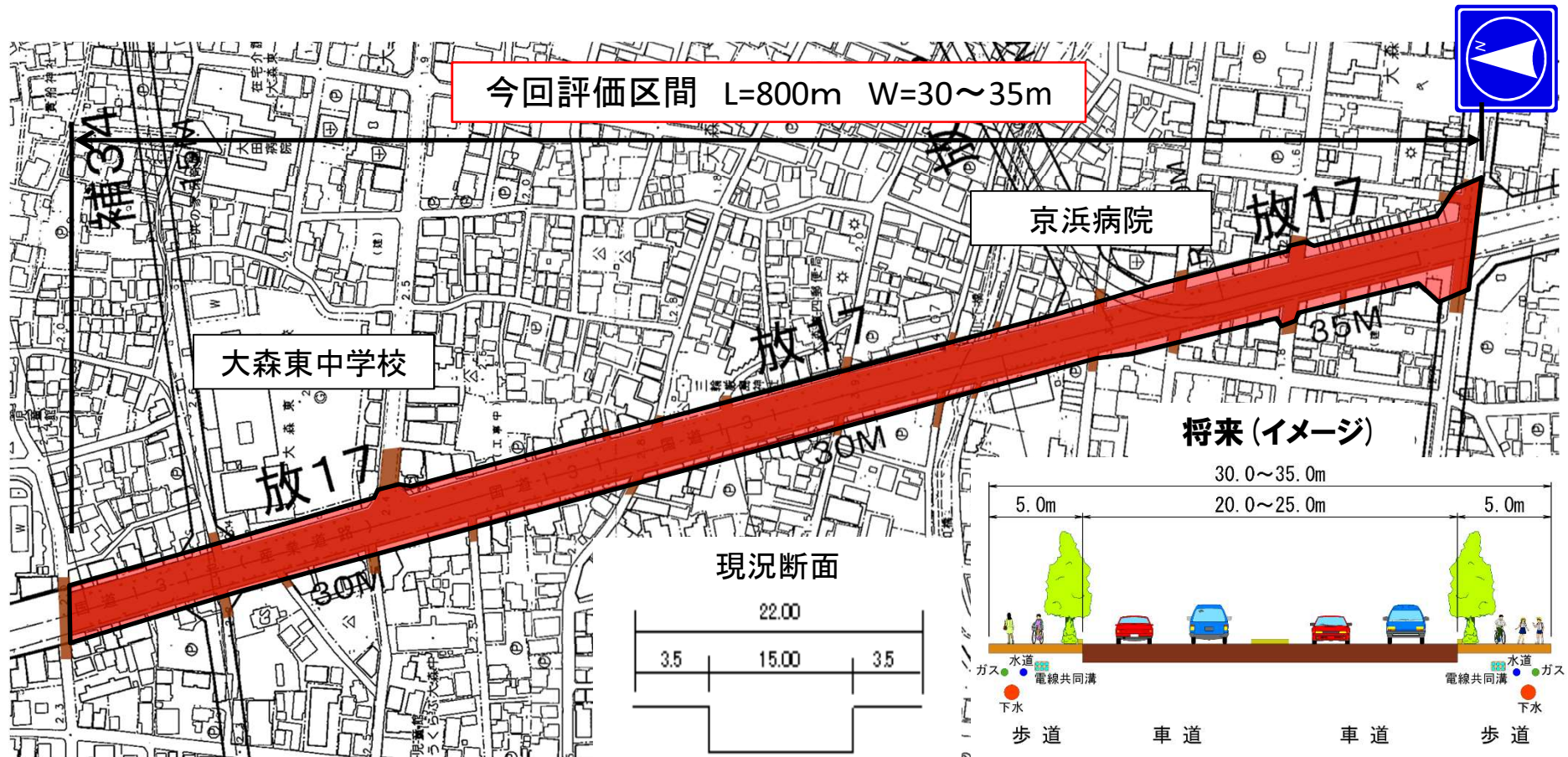


環状八号線より北側

本路線の整備により放射方向の道路ネットワークが強化され、**交通の円滑化**が図られるとともに、歩行者や自転車の通行の**安全性が向上**、延焼遮断帯が形成され地域の**防災性が向上**し、電線類の地中化や街路樹の植栽により、**良好な都市景観を創出**する。

# 1. 事業概要(3)

## 平面・横断略図



# 1. 事業概要(4)

## 現況写真



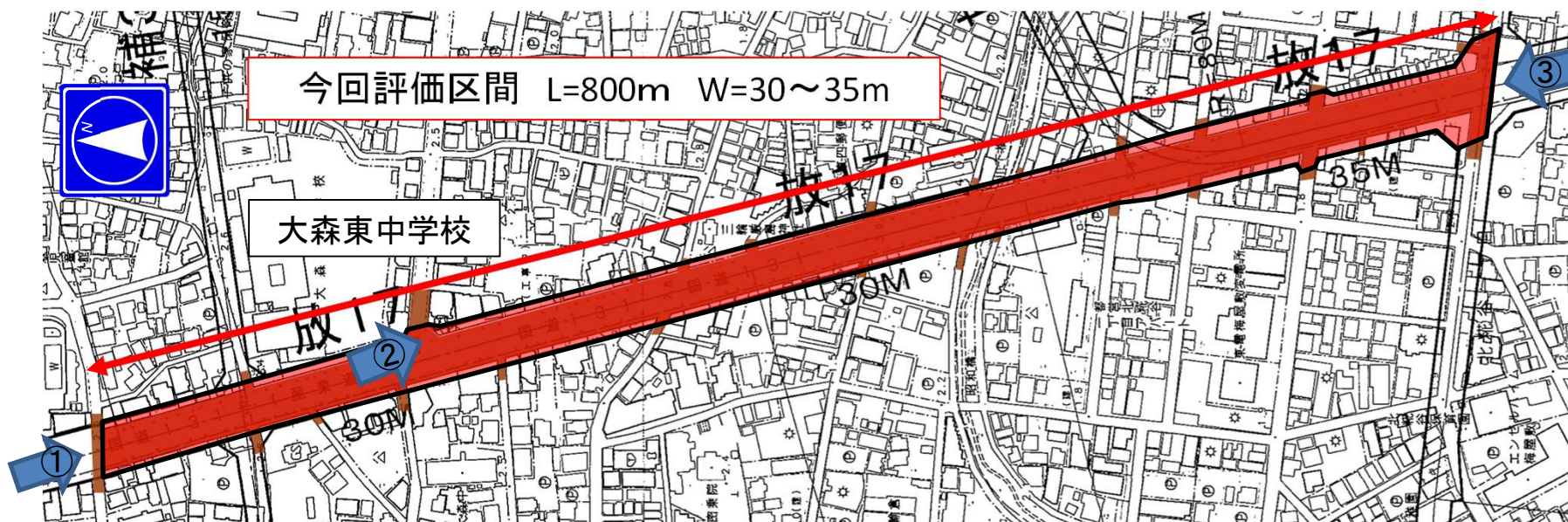
起点側



中間部



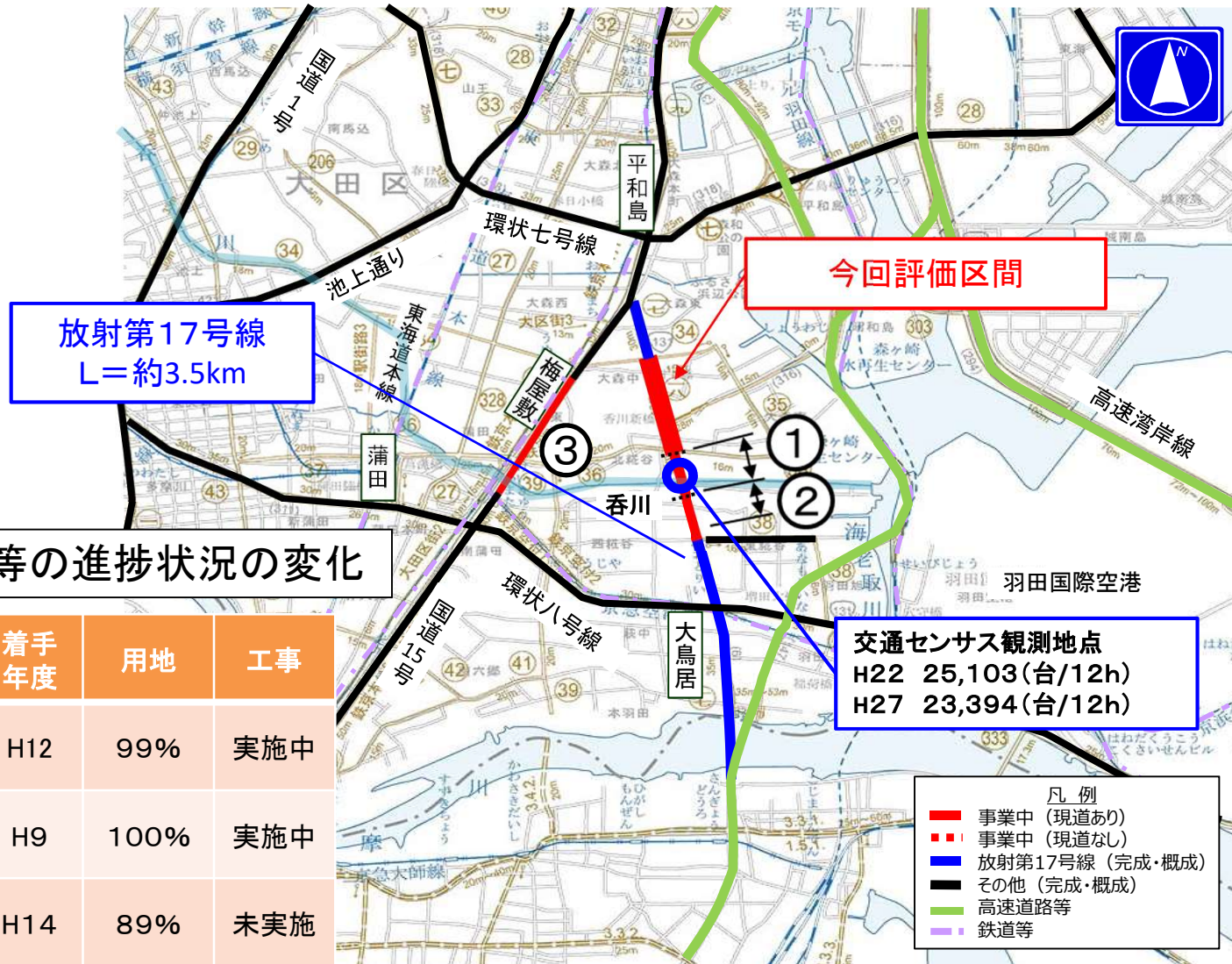
終点側



## 2. 社会経済情勢等の変化

### 社会経済情勢の変化

- 本路線周辺の現況交通量（H27年度）は、H22年度と比較して横ばい



### 関連する他事業等の進捗状況の変化

番号	地区	着手年度	用地	工事
①	放射17号線 (呑川)	H12	99%	実施中
②	放射17号線 (補38以北)	H9	100%	実施中
③	放射19号線 (梅屋敷)	H14	89%	未実施

### 3. 事業の投資効果(1)

#### 定量的効果

##### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益額	210.0億円
走行時間短縮便益	198.6億円
走行経費減少便益	11.2億円
交通事故減少便益	0.2億円

##### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	72.1億円
工事費	10.3億円
用地費	56.0億円
維持管理費	5.8億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

##### 【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 2.9 \quad (\text{前回 } -)}$$



### 3. 事業の投資効果(2)

#### 定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	○
	バスの定時性	○
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	◎
防災	緊急車両の走行	◎
	延焼遮断	○
	災害時の避難路の確保	○
	消防活動困難地域の解消	○

	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	
	交通不便地域の解消	
	商業・産業の活性化	
	公共施設へのアクセス向上	○
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	◎
	その他	◎

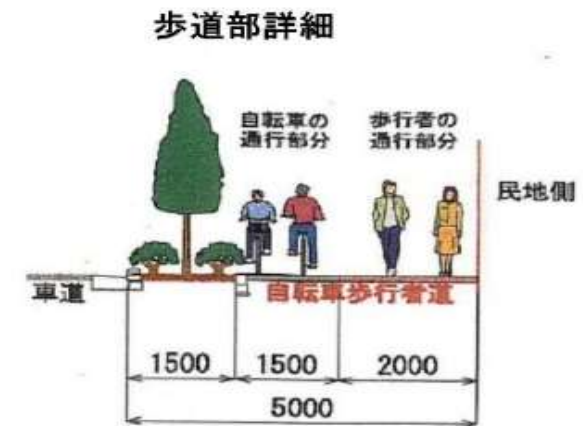
※該当欄の◎は次頁以降に概要あり

### 3. 事業の投資効果(3)

〈景観〉都市景観の向上

〈安全〉自転車や歩行者のための空間確保

■ 歩道と自転車道を整備し、電線類を地中化することで、快適で安全な歩行空間が確保され都市景観の向上が見込まれる。



現況



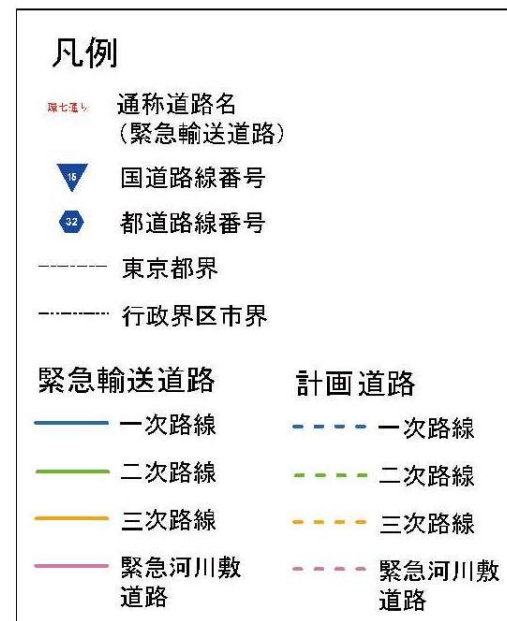
将来(イメージ)

### 3. 事業の投資効果(4)

#### ＜防災＞緊急車両の走行 ＜その他＞緊急輸送道路

- 本路線は、「**緊急輸送道路**※」の一次路線に設定されている。

※阪神淡路大震災での教訓を踏まえ、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点と相互に連絡する道路であり、第1次～第3次まで設定されている。



(注) 高速自動車国道、有料道路(国道)、都市高速道路は図面には表示されていないが、すべて第一次緊急輸送道路となっている。

## 4. 事業の進捗状況と見込み等

### 事業費の執行状況

(R2年度末時点カッコ内は前回評価時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	6,713(—)	1,466(—)	8,179(—)
執行済額(百万円)	1,855(—)	91(—)	1,946(—)
執行率(%)	27.6(—)	6.2(—)	23.8(—)

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
7,000m <sup>2</sup>	1,581m <sup>2</sup> (—)	22.6%(—)

## 4. 事業の進捗状況と見込み等

### 一定期間を要した背景等

- 店舗、病院、学校等が立地する地域であり、補償算定や移転計画の調整に時間を要している。

### 残事業の取り組み及び進捗の見通し等

- 各権利者の移転計画等を確認し計画的に折衝を行うことで、未取得案件の早期更地化を目指していく。
- 用地取得状況を踏まえて、順次工事を実施していく。  
(排水管工事、企業者工事、電線共同溝工事、街路築造工事等)

## 5. コスト縮減等

### 新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

### コスト縮減の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。
- 無電柱化に当たっては、東京都無電柱化計画（R3.6改定）を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。

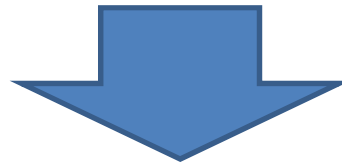
## 6. 対応方針(原案)

(事業の必要性等に関する視点)

- 本路線の整備により放射方向の道路ネットワークが強化され、交通の円滑化が図られる。
- 歩行者や自転車通行の安全性が向上、延焼遮断帯が形成され地域の防災性が向上する。
- 電線類の地中化や街路樹の植栽により、良好な都市景観が創出される。

(事業の進捗の見込みの視点)

- 店舗、病院、学校等が立地する地域であり、各権利者の移転計画等を確認し、未取得案件の早期更地化を目指していく。



- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。

継 続